

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report 令和6年(2024)11.01 vol.80

制施行20周年記念
文化交流 友好親善公演

20주년 기념
교류 우호친선공연



Contents

- 02 【特集】 利川市議会来訪
- 04 令和5年度決算
- 08 議案審議9月定例会
- 13 一般質問／市の考えを問う
- 19 議会活動レポート
- 22 組合議会報告

PHOTO 躍動感あふれるサムルノリー 日韓文化交流親善公演から

姉妹都市

韓国利川市議会 パク・ミョンソ議長来訪



甲賀市議会議長 橋本 恒典

利川市議会議長 パク・ミョンソ



韓国利川市の概要

利川市は韓国京畿道の東南部に位置し、人口は23万人で都市と農村が調和した田園都市。世界最高の美質を誇る利川米の産地であるとともに、千年息づいてきた伝統陶磁器の中心地でユネスコ創造都市として様々なプログラムが行われている。
人口：233,510人（2023年8月1日現在）
面積：461.3km

甲賀市と利川市の姉妹都市交流の経過

陶磁器が交流の媒介となり、利川文化院と信楽町観光協会の交流から始まった。

1999年 信楽町と姉妹都市提携締結

2005年 甲賀市と利川市が姉妹都市提携締結

2005年 姉妹都市提携記念甲賀市市民訪問団派遣

2006年 利川市市民訪問団・青年陶芸家受け入れ

その後、隔年で訪問団派遣・受け入れを実施

「亀遊び」は、キビワラでつくられた長寿を象徴する亀を中心に、楽器を持ったサムルノリ隊が1年の豊作と村の安寧を祈りながら家を一軒ずつ回るもので、現在は利川市のみで行われており、伝統民族遊びが京畿道無形文化財第50号に指定されています。

今回は、甲賀市市制施行20周年への祝意を込めて、亀遊び保存会によるサムルノリの演奏や演舞を披露していただきました。

利川亀遊び保存会によるサムルノリの演奏と演舞



안녕하십니까, 이천시의회 의장 박명서입니다. 우선 따뜻하게 환대해주신 고카시의 회 의장님을 비롯한 의원님, 직원분들께 깊은 감사의 인사를 전합니다.

こんにちは、利川市議会議長のパク・ミョンソです。まず、温かく迎えてくださった甲賀市議会議長をはじめとする議員と甲賀市の職員の皆様に深く感謝申し上げます。



ようこそ甲賀市へ。9月29日に行われた甲賀市市制施行20周年式典に合わせ、姉妹都市提携をしている韓国利川市から市民交流団と文化交流訪問団とともに、利川市議会から朴明緒議長と金在憲副議長が来訪されました。利川市議会として甲賀市議会を訪問されるのは初めてです。甲賀市議会議員との記念撮影や議長・

副議長との意見交換をおして交流を深めました。利川市議会は「疎通する共感議会。行動する開かれた議会」のスローガンのもと、23万人の市民を代弁する代議機関として活動されています。甲賀市議会も開かれた議会を目指していますが、参考になる取組が多くありました。

「開かれた議会」を目指して

甲賀市と利川市とは、2005年から相互交流を深めてきました。韓国の陶磁器文化の中心である利川市と、日本六古窯のひとつである信楽焼など、共通の陶磁器文化とともに、農業、教育など、民間の芸術分野でも交流を深めてきました。私も甲賀市議会の議長として、今年4月に開催された「陶磁器まつり」に、利川市を訪れ、利川市の自然と文化を肌で感じる事ができました。今回の訪問を契機にさらなる交流が深まることを期待しています。

さて、利川市議会では「開かれた議会」をテーマに取り組んでおられます。甲賀市議会でも広報広聴に力を入れ、より市民に開かれた議会に向けて取り組んでいます。利川市

議会では、各界各層の徳望ある市民を「一日名誉議員」に委嘱し、定例会議に参観できるようにしているとのこと。委嘱された「名誉議員」は、地方議会の機能と役割を市民に知らせる「広報大使」の役割を担うなど、議会と市民との接点を広げる役割を担っています。

また利川市議会では、「苦情処理中心」の消極的なコミュニケーション方式だけでなく、議会と各団体との懇談会を積極的に取り組んでいるとのこと。大変興味深く聞かせていただきました。その結果、昨年4月から「市民とのコミュニケーションの日」を運営されているそうです。

これら懇談会を通じて、市政運営の問題点や改善点を把握すること

で、「健康な組織文化と成熟した市民意識の定着」にもつながっているとのことでした。市に対して必要な改善点を明確にし、市執行部に伝えるとともに、懇談した団体にもその旨を通知されているようです。

もうひとつの注目点は、議会として、オンラインで市民と活発にコミュニケーションをとるために、インスタグラム、フェイスブック、YouTubeなど多様なSNSを通じて、リアルタイムで双方向のコミュニケーションをとっている点です。

朴議長が「市民の小さな声も聴き流さず、市民との約束は必ず守る、地域のボランティアになれるよう」利川市議会議員全てが心を一つにして、最善を尽くされている姿勢は学ばべき点だと思いました。

(甲賀市議会議長・橋本恒典)



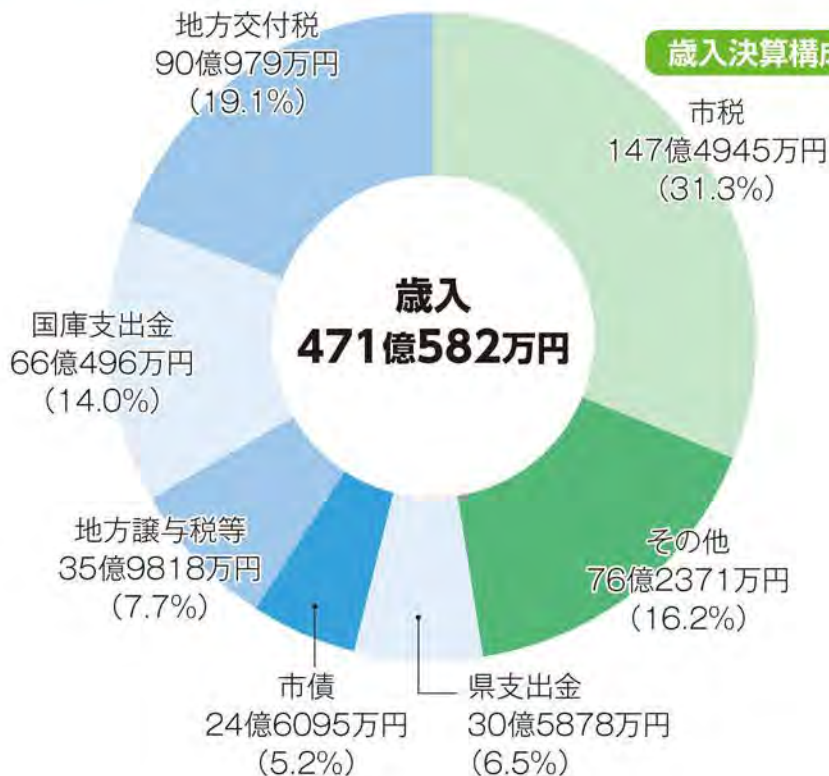
令和5年度決算をチェック



入ってきたお金

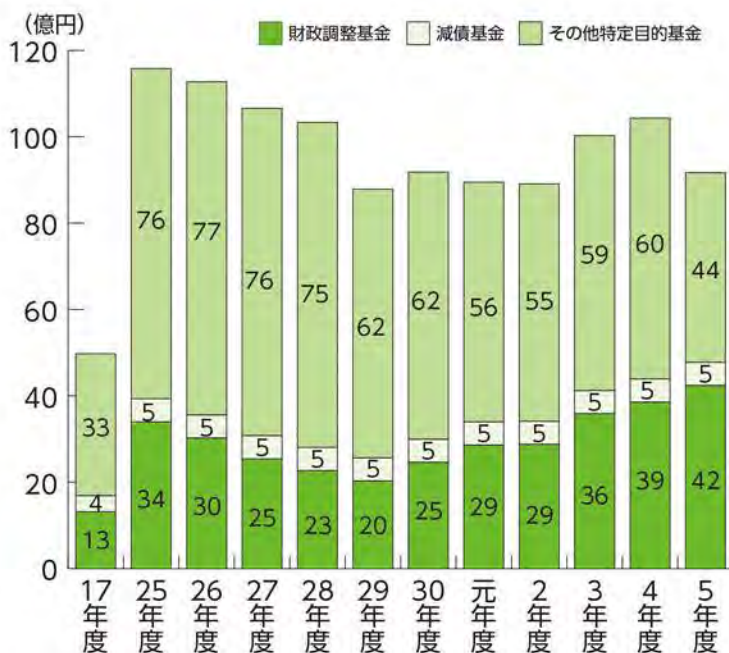
歳入 **471億582万円**

歳入決算構成



自主財源…市が自主的に収入する財源。
(この財源が多いほど、市独自の政策展開の自由度が高まる。)

依存財源…国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入。



基金現在高の推移

基金は、各年度の財源を調整するための「財政調整基金」や市債の償還財源を確保するための「減債基金」のほか、施設整備など特定の目的を達成するために必要な財源をあらかじめ準備しておくための16の「特定目的基金」を設置しています。

合併直後の平成17年度には約49億円まで減少しましたが、令和5年度末で約92億円となっています。

基金現在高の総額は、公共施設等整備基金の取り崩しなどにより前年度から約12・6億円減少しました。

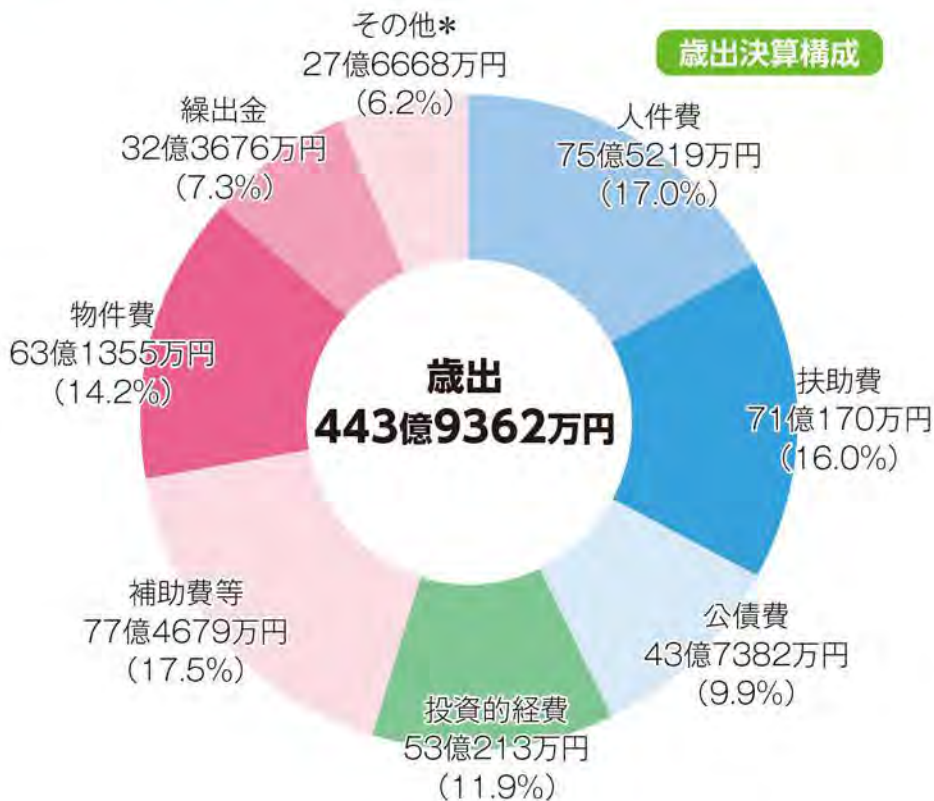
一般会計決算

令和5年度の一般会計決算は、9月12日・13日・17日・18日の4日間、予算決算常任委員会で集中審査を行い、9月25日の本会議で賛成多数で認定しました。

使ったお金

歳出 443億9362万円

歳出決算構成



義務的経費…任意に節減できない極めて硬直性が強い経費。

投資的経費…道路、橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等、社会資本の整備等に要する経費。

その他経費…裁量度が高い経費。

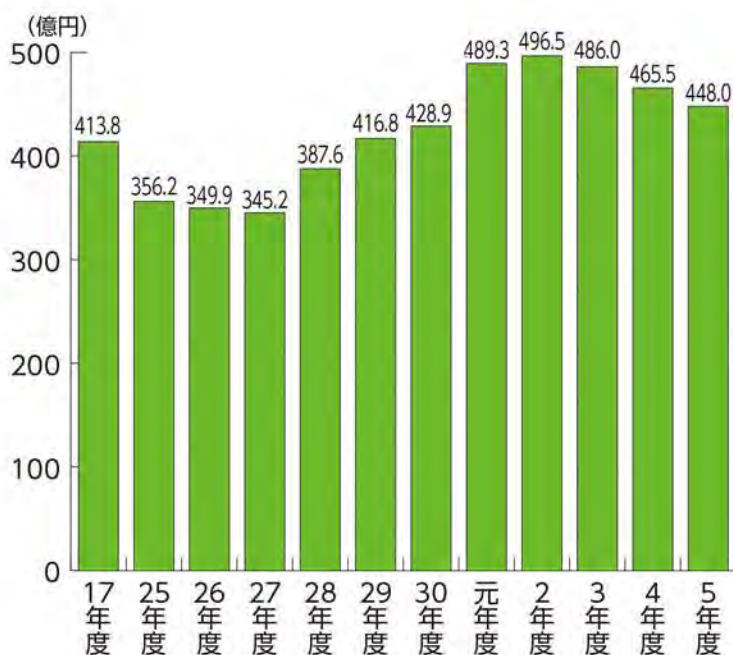
*その他は、維持補修費・積立金・投資及び出資金・貸付金・予備費。

地方債現在高の推移

市債は、主に道路や学校などの公共施設を整備するときの財源として、国や民間金融機関等から借り入れていきます。

市債現在高は、合併前後の大型事業の財源として借り入れたため、合併直後から増加しましたが、平成19年度以降は、市債の新規借入を抑制するとともに、将来世代の負担を軽減するため、平成30年度まで繰上償還を積極的に行っていました。

令和5年度末の市債現在高は、庁舎整備事業等の大規模建設事業にかかる償還が進んだことなどから、前年度より約17・5億円減少しました。



決算審査を次年度予算につなぐ!!



歳入について

Q 自主財源は前年比6.3%伸び、全体の47.5%を占め、市税は1.6%伸び、31.3%を占めている。

1 個人市民税は、どの所得層で伸びているのか。

2 法人市民税増の要因は何か。

A **1** 階層別では、総所得金額が200万円以上～500万円未満等が増加しており、所得の低かった人が上方にスライドしたものと理解している。給与所得者の総所得金額の増加が、個人市民税の増

収につながったと考えている。また、納税義務者が約300人増加している。

2 昨年度に引き続き製造業の企業業績が好調であり、円安による海外需要の拡大や為替差益が加わったこと等により増収につながったと考えている。

歳出について

Q アフターコロナにおける「新しい豊かさ」によるまちづくり事業の中、いくつかの新規事業が「未執行」となっている点について所見を伺う。

A 未執行であった新規事業は5事業であった。結果として未執行であるという点は真摯に受け止めて、今後は補助対象事業をメニュー化するなど、弾力的な予算執行方法を検討するとともに、次年度の予算編成では、真に必要な事業の構築に取り組む。

Q 1 「評価（A/B/C）」の仕方や基準が部局によって統一できていないのではないか。

2 未達成の場合の課題や改善点等を明らかにする評価シートにするべきではないか。

A **1** 評価は、評価要項を定めて運用しており、実績と成果指標の両面から判定することとしている。成果指標の考え方について、周知・徹底が図れていないために差異が生じた。

2 達成状況や課題の可視化、次年度以降への改善点や見直しという点で不十分な部分があることから、総合計画第3期基本計画及び実施計画にかかる検討と合わせて、庁内検討組織により、事務事業評価制度の見直しを進めている。

未執行になった新規事業

事業名	(千円) 当初予算
大学等受験料補助（困窮）	210
地域通貨制度構築調査	3,000
リスクリングによるキャリアアップ支援	2,620
就労支度金補助（ひきこもり支援）	360
青少年資格取得支援事業	1,000



審査においての次年度予算編成に向けて検討されたい主な意見

●子育て世代包括支援事業

「いっかおむつ便」未申請になっている外国籍市民への働きかけの強化。対象年齢の拡大の検討。

●多機関協働事業

各課との相談の充実から、部局横断で連携の充実。支援計画に対し同意の点、課題がある点など粘り強い対応・支援の充実。

●マイクロツーリズム 県外誘客事業

各種イベント等が、市への誘客に繋がっているか見えにくい。各種データ活用し、市内への周遊誘客の推進。

●甲賀の豊かな森林づくり事業

里山づくり環境整備事業において管理協定後の追跡の徹底・管理拡大への検討。

集中審査をふまえて

令和5年度決算認定

反対討論

アフターコロナにおける新しい豊かさによるまちづくりとして、子育て教育、地域経済、福祉・介護の3つの分野を基軸に様々な施策に取り組まれたが、前年度に比べると物価高騰対策費は減少しており、国の施策が多くを占めている。

市民生活の実態に寄り添い、命、暮らし、生業を守るといった市の独自

の施策、切れ目のない支援が必要。

合併特例債は有利な財源であっても借金であることには変わりなく、大型公共事業の優先順位や市民にとって本当に必要な事業かどうか、予算における事業設計が正しかったのかなど、契約の在り方や財政状況への検証が必要。

職員の時間外勤務については、長時間の時間外をしている職員やメンタ

ルによる休職者もいることから職員の業務そのものの見直し、職員の適正配置が必要。

未収金発生の防止、適正な債権管理、市民に寄り添った対策、対応が必要であること、ふるさと納税は市の財源確保策としては決して有効な策とは言えないことなど、多くの課題、問題点がある。

賛成討論

財政運営では市債残高が減少し、実質公債費比率が改善するなど健全な財政管理が実現され、交付税措置の手厚い市債を活用して市のインフラ整備やサービスの提供が行われた。小学校1年生から中学3年生までの医療費全額助成、信楽・甲南等のこども園の整備など教育保育環境の改善、物価高騰対策として低所得者世帯へ臨時特別給付金の支給によ

り生活の安定に大きく寄与した。

防災対策の強化として消防団員の装備の充実、防災訓練や地域防災リーダーの育成も進み、地域の防災力が大幅に向上。

ICT化の推進によって行政手続のオンライン化が進み、LINEを活用した市民向けの情報発信が強化されたことにより市民と市政との距離感が縮まり、双方のコミュニケーションが充実。

地域経済では、甲賀市のお茶のブランド推進など地域特産品を活用した経済施策や、忍の里伊賀甲賀を生かした観光誘致などにより地域活性化に貢献をしている。これらの施策は市民生活の向上と地域の持続可能な発展に貢献し、令和5年度の一般会計決算は財政の健全化と市民サービスの向上を両立させたとして評価。



決算審査意見書

監査委員 山本哲雄・戎脇浩

一般会計の概要は歳入総額471億582万円・歳出総額443億9362万円。翌年度繰越財源を差し引いた実質収支額は20億4204万円の黒字となった。なお収入未済については、収益率・収入率アップとともに、未収金の発生防止と早期回収に努力されたい。

決算テーマ

- ①事務事業が所期の目的を達成しているか。取組経過と成果について。
- ②高度な戦略を実現するための経営資本の一つである人材育成と職員のスキルアップについて。

考慮されたいこと

- ①契約検査付議件数のなか、随意契約が43%を占める。随意契約は限定的に認められている認識が必要。
- ②プロポーザルでの契約が約5%。契約手法によっては営業経費等の加算など契約額が高くなる傾向にある。

今後総合計画実現を目指し、住民福祉の増進が図れる取り組みが展開されるよう期待したい。

9月定例会 議案の質疑

請願第1号

生活保護世帯に「夏季加算」補助及びエアコン未設置世帯への設置補助を求める請願

PICK UP 1

賛成少数で不採択としました

主な質疑

Q 補助制度の創設の前に、現行の貸付制度についての認識はどのように捉えられているのか。

A 生活保護世帯に対して貸付制度は馴染まないものと考えている。やりくりをして返済するというのは、現実的に非常に難しいと考えている。

Q 生活保護制度においての「自立を助長する」という点の考え方は。

A 自立していただくことが前提であるが、できない方に対しては、支援が必要な場合があると考ええる。

■反対討論

昨今の猛暑が続いている社会状況は理解できるが、生活保護については国の制度の下で行われるべきであり、生活保護世帯が貸付制度を利用できるようにしっかりと伴走支援すべきである。夏季加算については冷房等に使用したか否かに関して個々の差が大きく算定が困難である。

□賛成討論

猛暑が続く熱中症で命が脅かされている。国の生活保護制度では限界があるため、限界の部分を補填するのが地方自治体の役割である。夏季加算については、命を守るために日常生活に必要な経費として算出するものである。

議案第54号

令和5年度甲賀市国民健康保険会計歳入歳出の認定を求めることについて

PICK UP 2

賛成多数で認定しました

歳入決算額	90億2778万8323円
歳出決算額	86億1946万2799円

主な質疑

Q 決算にあたり、国保運営協議会ではどのような意見が出されたのか。

A 7月11日に開催され、基金、収納率、さらには健康づくりへの提案がなされた。

Q 収納率について、新たな滞納者が381名に上った要因をどのように分析しているのか。

A 離職・定年退職された方々が、前年に比べ所得が少なくなつたため、年度内に納付することが困難になったなどが要因だと考えている。

■反対討論

財政的に危機的な状況であり、特定健診の受診率の向上など医療費を適正に抑える予防のための策を進める必要がある。また、今後については、国・県・市が一体となつて見直しに取り組むべきであり対応を求める。

□賛成討論

データヘルス計画に基づいた予防の取組も評価できること、税の公平性を鑑みた徴収、滞納に關しても市民に寄り添って徴収猶予など適切に処理されていることを評価する。

議案第55号 令和5年度甲賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出の認定を求める
こと

11月27日

PICK UP 3

賛成多数で認定しました

歳入決算額 23億1177万5862円
歳出決算額 22億5655万9568円

主な質疑

Q 医療費の窓口負担の配慮について、実施状況は。

A 令和4年10月から2割負担の制度が始まったが、負担増になる額を3000円までに抑えるという配慮がなされている。

Q 保健事業について、本市の状況は。

A 健康診査の受診率については、県内7番目であり、県平均を上回る数値を維持している。

■反対討論

医療給付費が増えれば保険料にはね返る仕組みに問題があり、制度そのものに反対である。また、医療給付費が増えていることから、元気で長生きできるよう健康づくりにもっと力を入れるべきである。

□賛成討論

窓口負担の配慮、軽減措置がされている実情がある。また、本市は高い収納率を維持し、保健事業においても前衛的に取り組む姿勢が見受けられるものである。

議案第56号 令和5年度甲賀市介護保険特別会計歳入歳出の認定を求めること
こと

12月1日

PICK UP 4

賛成多数で認定しました

歳入決算額 84億852万1557円
歳出決算額 81億6070万2403円

主な質疑

Q 諸収入について、年度ごとに大きな増減が生じているが、その要因は。

A 本年では、第3者行為（交通事故）の事案が大きな要因であり、年によって大きな差が生じる。

Q 特別養護老人ホームの待機者は、増加している状況であり、介護保険事業計画自体を見直すべきではないか。

A 施設整備の予算や人材確保も課題である。これらについても運営協議会に諮りながら慎重に検討して参りたい。

■反対討論

高齢化が進む中、介護予防の取り組みが極めて重要である。また、特別養護老人ホームの待機者の解消など、要介護認定を受けている人たちが必要な介護サービスを受けられているかという点も必ずしもそうでないと認識しており、介護保険事業計画を見直すなど、必要な対応を検討すべきである。

□賛成討論

高齢化率が年々増加するなか、保険給付費が増大しているものの、高い収納率を維持し、経費や保険料の見直しの補填等に向け基金をしっかりと積み立てていることなど、著しく不適切な問題は見当たらないものである。

議案第72号

甲賀市自転車駐車場条例及び甲賀市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について

PICK UP 5

甲南駅周辺整備に伴い、甲南駅の北口側に新たに甲賀市甲南駅北第2自転車駐車場及び甲南駅北駐車場を設置するために、甲賀市自転車駐車場条例及び甲賀市駐車場条例の一部を改正しようとするもの。

主な質疑

Q 新たに整備する駐輪場及び駐車場の区画数はどれだけか。

A 駐輪場は、自転車であれば10台程度、原動機付き自転車なら6台程度、自動二輪車なら5台程度で、駐車場は、一般区画31台、優先区画2台の33台で、利用形態を月極と日極の併用とし、利便性を向上させ草津線の利用促進につなげる。

Q 駐車場について、南口と同様の料金設定となっているが、管理も同様か。

A 指定管理者制度を活用して管理を行う予定。



Q 条例施行は令和7年4月1日だが、新設された道路の併用開始は同じか。

A 道路の併用開始は年末予定。

議案第79号

契約の変更締結につき議決を求めることについて

PICK UP 6

令和6年3月22日議決を得た道の駅あいの土山新築工事請負契約を16億1700万円から6040万2100円増額して、16億7740万2100円へと変更することにつき議決を求めるもの。

主な質疑

Q 非常放送設備、コンクリート・鉄筋・鉄骨工事の変更で契約額の変更ということだが、当初の段階で見込むことができなかったのは何故か。

A 合併特例事業債等の特定財源の発行期限も踏まえ、市として工事期間を最大限確保するため早期着工を考え、指定確認検査機関の事前確認を経て工事発注を行った。その後、建築確認が進む中で、指定確認検査機関から追加指示があったため、工事費の増額となった。また、非常放送設備については、甲賀広域行政組合水口消防署の指導のもとで進めてきたが、収容人数の解釈の見解の相違のより、確定ま

Q 増額の6040万2100円の財源について、内訳・構成は。

A デジタル田園都市国家構想交付金、合併特例事業債、一般補助事業債、緊急防災・減災事業債、一般財源を活用し、今回増額分は、合併特例事業債、一般財源を活用予定。

Q 指定確認検査機関と見解の相違があったようだが、設計は充分だったのか。

A 当初の設計と違った構造を求められたが、建築基準法に基づいた設計になっている。

議案第81号 財産の取得につき議決を求めることについて

PICK UP 7

信楽消防署用地として、6122平方メートルを取得することにつき議決を求めるもの。

主な質疑

Q 信楽消防署用地として既存する、6122平方メートルの土地を5142万4800円で購入するにあたり、これまで長野県自治会から賃借していたが、今回購入することになった経過と購入価格設定について。

A 消防署は市民の安心安全を確保する拠点施設で、市で管理すべきものと認識している。長野県自治会との調整・準備が整ったので議案上程となった。購入価格は、不動産鑑定を実施し、市公有財産審議会を経て、適正であると判断した。当初予算でも5142万5000円が計上されているが、取得後の登録料や手数料は発生しないのか。

A 市が主体となり、手続きを進めるため、本件についての登録料・手数料等は発生しない。

財産の取得予定地



議案第82号 甲賀市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

PICK UP 8

賛成多数で認定しました

法に基づき、令和6年12月2日から国民健康保険の被保険者証が廃止されることに伴い、罰則規定(10万円以下の過料)が削られるため、本条例の一部を改正するもの。

主な質疑

Q 過料をなくすことは良いことだが、大前提として、国民健康保険証がなくなるといことになるから過料もなくなるといことなのか。

A マイナ保険証での対応となると考える。すべての人が被保険者証を持たなくなるため、返還要求しても、そもそも返還できないケースが発生するため、過料をなくすもの。

Q 健康保険証はなくなるといことなのか。

A 被保険者証という名称での資格を確認できるものはなくなると考える。

Q 国民健康保険法施行規則の第6条の被保険者証は交付しな

ければならないとあるがそれは変わるのか。

A 先日、官報で改正の通知が出ていて市町が被保険者証に代わる、資格確認書の発行になると改訂された。

■反対討論

マイナ保険証はあくまでも任意であり強制するものではないため、紙の健康保険証で補完すべきものである。条例改正の前提となっている紙の健康保険証がなくなることによって反対するため条例改正についても反対。

■賛成討論

マイナ保険証は医療のデジタル化を進める力ギとなるもので、最適な医療の提供や薬の重複投与の防止にもつながる。本改正は、国の法改正に伴い行われるものであり、反対する理由もないものである。

9月定例会議決結果

全員賛成で可決・認定・適任・採択したもの

	番 号	提案者	件 名
決算認定	議案第 57号	市長	令和5年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて
	議案第 58号	市長	令和5年度甲賀市病院事業会計決算の認定を求めることについて
	議案第 59号	市長	令和5年度甲賀市水道事業会計決算の認定を求めることについて
	議案第 60号	市長	令和5年度甲賀市診療所事業会計決算の認定を求めることについて
	議案第 61号	市長	令和5年度甲賀市介護老人保健施設事業会計決算の認定を求めることについて
	議案第 62号	市長	令和5年度甲賀市下水道事業会計決算の認定を求めることについて
人事	議案第 63号 ～70号 (8件)	市長	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
条例改正	議案第 71号	市長	甲賀市税条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 72号	市長	甲賀市自転車駐車場条例及び甲賀市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 73号	市長	甲賀市病院事業設置等に関する条例及び甲賀市立みなくち診療所条例の一部を改正する条例の制定について
補正予算	議案第 74号	市長	令和6年度甲賀市一般会計補正予算（第2号）
	議案第 75号	市長	令和6年度甲賀市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	議案第 76号	市長	令和6年度甲賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	議案第 77号	市長	令和6年度甲賀市介護保険特別会計補正予算（第1号）
その他	議案第 78号	市長	和解及び損害賠償の額を定めることにつき議決を求めることについて
	議案第 79号	市長	契約の変更締結につき議決を求めることについて
	議案第 80号	市長	契約の締結につき議決を求めることについて
	議案第 81号	市長	財産の取得につき議決を求めることについて
意見書	意見書案第16号	木村	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書の提出について
	意見書案第17号	田中(将)	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書の提出について

賛否の分かれた議決結果

○…賛成、●…反対

番 号	議案等の名称	会 派 名																							結 果
		提 案 者	討 論		凜風会					自由民主党誠翔会					公明党			日本共産党			結果				
			反 対	賛 成	西田 忠	瀬古 幾司	西村 慧	林田 久充	谷永 兼二	田中 新人	橋本 律子	北田 麗子	中島 裕介	奥村 則夫	小倉 剛	田中 喜克	戎脇 浩	木村 眞雄	堀 郁子	田中 将之		西山 実	岡田 重美	山岡 光広	
議案 第53号	令和5年度甲賀市一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	市長	西山	田中將	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	可	
議案 第54号	令和5年度甲賀市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	市長	山岡	中島	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	可	
議案 第55号	令和5年度甲賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	市長	山岡	北田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	可	
議案 第56号	令和5年度甲賀市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	市長	山岡	木村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	可	
議案 第 82号	甲賀市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	市長	山岡	中島	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	可	
請願 第1号	生活保護世帯に「夏季加算」補助及びエアコン未設置世帯への設置補助を求める請願	請願者※	木村	山岡	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	否		
意見書案 第13号	沖縄での米軍による性被害根絶を求める意見書の提出について	岡田	北田	山岡	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	可	
意見書案 第14号	敦賀原発2号機「不適合」を受けて廃炉の決断を求める意見書の提出について	山岡	橋本律	西山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	否		
意見書案 第15号	教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書の提出について	西山	木村	岡田	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	否		

※請願者 甲賀生活と健康を守る会 会長 門 治

※橋本恒典議員は議長のため採決に加わらない

17人の議員が 市の考えを問う

第3回定例会の一般質問が、9月3日、4日、5日、6日の4日間にわたって行われ、17人の議員が市政について質問しました。
質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

田中 喜克 1 日本一の「環境未来都市」を目指して 「甲賀市地球温暖化対策実行計画」はどのように実行を
2 明日にも起こるかわからない大規模災害に備えて 「甲賀市が早急に整えなければならない施策、準備」は

木村 眞雄 1 本市における「学びの多様化」の取り組みについて
2 学校および公園の遊具の整備について
3 コミュニティセンターの空調設備について
4 救急安心センター事業(#7119)について

堀 郁子 1 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について
2 入札の市内企業優先制度について
3 HPVワクチンの周知と男性へのHPVワクチン接種費用の助成について

小倉 剛 1 食料・農業・農村基本法改正等について
2 熱中症対策の推進について

中島 裕介 1 太陽光発電事業を規制する条例制定について
2 保育園の安全環境整備について

岡田 重美 1 マイナンバーカードは任意、紙の保険証の継続を
2 学校給食費の無償化について
3 介護用おむつの支給事業を
4 甲賀保健センター、鹿深夢の森公園の設備改修について

西村 慧 1 「30歳のつどい」について
2 新型コロナウイルス感染症の罹患後症状(いわゆる後遺症)の実態把握と支援策について
3 JR関西本線(亀山(名古屋)方面)と連携したJR草津線の利便性向上について

西山 実 1 指定避難所の耐震補強並びに避難所開設・運営マニュアルにそった訓練・補強を
2 第2次甲賀市小中学校再編計画(基本計画)について
3 児童・生徒の視力低下に歯止めを
4 歩道の植栽の適切な管理を

山岡 光広 1 放課後等デイサービス利用者の負担軽減を
2 身寄りのない人の孤独死の対応とその後の課題について
3 市職員の時間外労働是正の取り組み その後
4 記録的な猛暑から市民の命と暮らしを守る取り組みについて
5 会計年度任用職員の処遇改善について

橋本 律子 1 オール甲賀に向けたさらなる刷新を
2 新たな社会参加の仕組みづくりについて

奥村 則夫 1 わたSHIGA輝く国スポ・障スポに関することについて
2 おむつ施策について

福井 進 1 視覚障がい者の声から
2 放課後等デイサービスの支援
3 「誰一人取り残さない」に向けて 市長の思い
4 こどもたちにより良い教育環境の提供をめざして

西田 忠 1 「食」を活用した地域活性化について
2 「となりまち い・こ・か」観光圏について

谷永 兼二 1 第4期教育振興基本計画策定にあたり基本理念と特色ある学校づくりについて
2 市長任期満了にあたり政策集の評価は

瀬古 幾司 1 地域経済の循環を目指した地産地消について
2 再生可能エネルギーの導入目標について

田中 将之 1 地域幸福度指標の活用について
2 災害時の「福祉的な支援」および保健衛生環境の整備について
3 多文化共生からダイバーシティへ

北田 麗子 1 シグナル・フォー・ヘルプの周知について
2 水難事故防止対策の令和5年度取り組み状況について
3 ラーケーションにみる「休み方改革」について

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問



公明党

堀 郁子



認知症の人に寄り添う地域社会を

質問

あなたを大事に思っていることを見る・話す・触れる・立つの四つの柱で、相手が理解できるように届ける効果的なケア技法であるユマニチュードの普及に取り組み、認知症基本法の「認知症の人を含めた国民一人ひとりが尊厳ある人として、その個性と能力を十分発揮しながら、共に支え合って生きる共生社会の実現を目指している」ことを啓発しては。インターネットによる交流も含めた、地域における認知症ピアサポート環境の整備はいかがか。

回答

ユマニチュードを用いて認知症施策を推進された事例を、本市の施策推進の参考にしたい。また、認知症の人への理解や知識を深め、認知症の当事者が地域に自身の思いを発信することや啓発活動などと共に推進する。認知症カフェで当事者同士の交流がさらに深まるよう支援し、ネットでの交流は調査・研究し本市でもしたい。

入札の市内企業優先制度をさらに

質問

国交省から中小企業の受注機会確保の通達が出ている。さらなる市内企業を優先する方策を。

回答

検討する。



自由民主党誠翔会

小倉 剛



食料・農業・農村基本法改正等について

質問

改正法の基本理念にかかる本市の認識は。

回答

農産物の品質や農業者の労働環境、地球環境なども含めて考慮した価格設定を行うことは、安定した品質の農産物を一定の価格で供給することが可能となり農業者の所得向上につながるとともに次世代の農業者の確保や農業の継続など農業の持続可能性を高めることができると考えている。また農産物の生産コストが適切に反映されることで農産物の生産、消費が活性化すれば食料自給率の向上につながると考えている。一方で、農産物の生産費用が考慮されない場合には、それを補填する支援が必要であると考えている。

熱中症対策の推進について

質問

①涼み処の利用度は。②公共施設以外の涼み処の開設は。

回答

①涼み処として施設利用の周知を行ったことで、各施設からは本来の施設利用も含め全体的に利用者が増加していることも確認しており一定の成果があった。②涼み処の設置エリアや箇所数の拡大のみならず大型量販店をはじめ民間施設の長所を生かした場の創設に向け、関係部局と連携し、民間事業者の皆様方にも協力いただけるよう呼び掛けていく。



自由民主党誠翔会

田中 喜克



日本一の「環境未来都市・甲賀」を目指し地球温暖化対策実行計画はどのように

質問

環境未来都市実現のため、甲賀市の豊かな自然を活用した具体的施策の可能性は。

回答

「バイオマス発電」は間伐材や家畜排せつ物等の原料の安定供給等、地域資源の有効活用ができ研究を進める。「小水力発電」は導入可能性が高い市内6河川において流量調査し、導入検討を進める。「太陽光発電」は公共施設の屋根等を事業者に貸付、設備を設置いただき、発電電力を買い取る、「PPA」の導入に向け検討する。「風力発電」は自然災害や音・振動等懸念がある。

明日にも起こるかわからない大規模災害に備えて「市が早急に整えるべき施策」は

質問

差し迫る大地震発生の予告情報が発せられる中、地震による家屋倒壊危険に対応する、市の「木造住宅耐震補修事業補助制度」を早急に多くの方の活用ができないか。

回答

住宅所有者の一時的な費用負担軽減のため、「代理受領制度」活用により耐震化が促進できると考え、令和7年度から運用できるよう準備を進める。



公明党

木村 眞雄



学びの多様化について

質問

スペシャルサポートルーム(SSR)事業をより充実したものにするために、成果と課題を検証する必要がある。今後の計画は。

回答

定期的にSSRの利用者数や個々の変容を集約して、出てきた困り事や課題に対して、丁寧にヒアリングを行う。

学校及び公園の遊具の整備について

質問

①学校遊具の補修枠として予算を確保できたか。②今後の整備計画は。③運動公園の整備方針は。

回答

①250万程の予算を確保した。②必要な予算確保に努め、学校遊具の維持、更新に取り組む。③甲南中央運動公園の遊具は、設置場所を検討しながら、R8年度以降に整備する。

コミュニティセンターの空調設備について

質問

今後の具体的な整備計画について

回答

コミュニティセンターは有事の際の防災拠点、また身近な交流の場であり、空調設備は必須である。命に関わる空調設備の整備は、優先すべき事項であり、継続的に最適な環境を整えていく。



凛風会
にしむら けい
西村 慧



「30歳のつどい」について

問 2回目となる今年度の事業内容は。

答 「みなくるプラザ」を会場に11月30日に開催し、地場産品の大抽選会など、多くの方が交流しやすい内容とする。

新型コロナ後遺症の実態把握と支援策を

問 ①後遺症の定義は。②県等と連携したさらなる情報発信と支援体制の確立を。

答 ①感染性消滅後も症状が2ヵ月以上続き、他の病気の症状としては説明不可のもの(WHO)。②本市にも一定数の患者が想定されるため、国等の情報を基にHP等の充実を図り、正しい情報発信に努める。

関西本線と連携した草津線の利便性向上を

問 ①JR関西本線と草津線に関わる過去の経緯は。②草津線の亀山方面への直接乗り入れ延伸を。

答 ①昭和61年に直通列車が廃止されたが、京都と名古屋を結ぶ気動車が乗り入れ運行されていた。②電化区間(草津線)と非電化区間(関西本線)の両方を走行可能な「デック(D・E・C)」車両の導入・実証実験が他の地域では進められており期待している。



日本共産党
にしやま むね
西山 実



指定避難所の耐震補強と避難所開設運営の訓練・補強を

問 ①避難所の耐震補強を。②計画ジェンダー視点を踏まえた避難所の設置・運営訓練を。

答 ①一次開設する避難所の耐震化率は96%、二次開設する避難所で73%。計画に基づき施設の改修などと合わせ耐震化を進めるとともに、民間施設の利用も進めていく。②トイレ、更衣室、授乳室、育児スペースなど、女性の意見を取り入れて訓練を実施してきた。今年も男女別の避難所内の生活スペースを設ける訓練を行う。

学校再編基本計画について

問 ①適正配置計画は、小学校21校を12校に削減する計画だが、学校は地域にとってかけがえのない存在、15学区で2020年度にかけて出された、再編検討協議会の議論を尊重して進めるべき。②少人数のよさを生かした特色ある教育活動を展開する特認校の存続の考えは。

答 ①各学区の再編検討協議会の報告を尊重しすすめる。②学校再編により特認校が閉校する場合は、少人数の良さを生かした弾力的な教育環境の実現に努める。



自由民主党誠翔会
なかじま ゆう
中島 裕介



太陽光発電事業を規制する条例制定について

問 ①太陽光発電事業を規制する条例の制定について伺う。②全国植樹祭を開催した本市としての太陽光発電との共生について。

答 ①森林伐採を伴う太陽光発電施設の設置は、検討すべき課題であると認識。甲賀市みんなのまちを守り育てる条例については、基本理念である「豊かな自然等との均衡のとれたまちづくり」の実現に向け、改正の必要性を調査研究していく。②緑豊かな森林を次の世代へと引き継いでいくことが責務であり太陽光発電施設との共生については、長期的な展望に立ち、自然との調和、景観への配慮など考え、環境未来都市の実現に取り組む。

保育園の安全環境整備について

問 本市独自の防犯カメラ設置補助制度の創設について。

答 保育施設において、不審者等侵入を防止する目的の防犯カメラ。不適切保育の防止、保育現場を記録するカメラ等の設置は、保育現場の負担軽減等も含め、安心して業務に専念できるよう環境整備を行うことが重要であると考え、防犯カメラ等設置補助制度について、市とし創設できないか、具体的検討をする。



日本共産党
おかだ しげ
岡田 重美



紙の健康保険証の継続を

問 ①12月2日からの紙の保険証発行廃止、マイナ保険証一本化は、任意であるマイナンバーカード取得を強制するもので問題。②マイナ保険証のない人に交付される「資格確認書」は5年の期間後も市は保険者としての責任で交付すべき。

答 ①マイナンバーカード取得はあくまで任意。②交付は当面の間とされている。市民に理解いただくよう丁寧な説明、周知に努める。

学校給食費の無償化について

問 何らかの形で学校給食費を無償化している自治体が全国で4割、県内で5割と広がっている。市も中学校からなど段階的にでも無償化すべき。

答 国や県に働きかける。市としては給食の充実、食育の推進に努める。

甲賀保健センターの設備改修を

問 甲賀保健センターはボイラー故障、雨漏れ等、設備老朽化が顕著である。早期に改修すべき。

答 調理室の給湯器は早期に設置できるよう対応する。



自由民主党 誠翔会

おくむら のりお
奥村 則夫



わたSHIGA輝く国スポ・障スポに関することについて

質問 ①施設整備の現状は。②関わる人の想定と確保は。③ボランティア募集の現状は。

回答 ①陸上競技場、多目的グラウンド、市民スタジアム、管理棟の必要な整備を実施し令和6年度末の完成予定。②競技係員(市職員等)をはじめ、意欲関心のあるボランティア、市内の高校生に協力を依頼している。③個人と団体合わせて約60人、多くの方の参加を期待している。

おむつ施策について

質問 ①どうか★おむつ便の現状は。②通園児と自宅で子育てしている人の人数は。③保育園等でおむつ無償提供が始まるにあたり、入園していない家庭へのおむつ支援は。

回答 ①95%が利用。②0歳児は約13%、1歳児と2歳児は約64%、3歳児は約97%、4歳5歳児はほぼ100%の就園状況である。③未就園児へのおむつ支援という課題があるがどうか★おむつ便に加え、「子育てしやすいまち」につながるサービスの充実にはかる。

どうか★おむつ便を2歳まで延長し、就園したらおむつ無償提供を受けることから、どうか★おむつ便を停止し、子育て世代のおむつ支援の差を少なくすべきと提案。



無所属

ふくい すずお
福井 進



誰一人取り残さないに向けて

質問 ①障害のある人への合理的配慮について。②放課後等デイサービスの現状に対する支援について。③誰一人取り残さないに向けての市長の思い。

回答 ①4月より民間事業者への合理的配慮の提供が義務化され、その展開に努める。②日中一時支援事業の実施等で預かり時間への対応と物価高への支援を市民目線で検討する。③市民の力もお借りしてだれもが幸せを実感できるまちづくりをオール甲賀で取り組む。

小中学校の再編計画について

質問 ①極めて小規模な小学校とは。②単級となる中学校の複数クラス編成。③保小の統合で、大野・佐山・雲井小学校を保小一貫校に。④学校選択制の導入。⑤再編への市長の思い。

回答 ①甲南第三・小原・朝宮・多羅尾の4校。②より良い教育環境の充実について検討する。③雲井での保幼小連携についての研究の成果等を見極めて判断する。④今後、慎重に判断する。⑤魅力的な教育環境を将来にわたって提供するために避けては通れない重要な課題である。



日本共産党

やまおか みつひろ
山岡 光広



身寄りのない孤独死の対応を

質問 一人暮らし高齢者が増える中で孤独死も増えている。葬儀・相続・空き家となった土地と家屋の処分などさまざまな課題がある。生前中に「終活」の相談にのするなど部局連携で対応する体制が必要ではないか。

回答 一人暮らし高齢者にとって一緒に相談できる体制は、必要不可欠。孤独死のリスクが考えられるケースについては、その都度、重層的支援会議において部局横断で対応を協議している。

時間外労働の是正 市職員の会計年度任用職員の処遇改善

質問 ①「午前零時を超えての退庁」はその後？②会計年度任用職員の実態は。有給の生理休暇は草津・野洲でも実施している。「三年目の公募」が削除された。継続雇用は可能か。

回答 ①令和5年11月以降、緊急対応を除き、11月5課、12月3課、1月2課、2月3課、3月以降7月までは1課。②817人のうち女性の比率は80.8%、生理休暇は正規有給、会計年度は無給。総務省の改訂で再度の任用に回数制限がなくなった。



凜風会

はしもと りつこ
橋本 律子



オール甲賀の推進に向け、更なる刷新を

質問 合併後20年。公共施設の適正化に向けた取り組みの現状と、長期化したインフラの整備の有無・見直しから次世代への継承負担の在り方を探る機構をどう導入すべきか次の点伺う。①小中再編の協議の見直しは、地域へ具体案を示す・年次的集約を視野に提案も必要となるのでは。②市内5か所の図書館の今後の在り方について伺う。③自治会が所有する歴史的資料等の有効的保存について、市民とともに検討・支援も必要と考えるが。電子データ化も含め対策を。

回答 ①第1期再編計画の終期の今、対象の15地域での議論・保護者との合意のもと2小学校統合。多くの地域で存続希望され進まない現状。第2次計画策定中。「小中学校教育のあり方審議会」からの答申など踏まえ、より多様化する教育ニーズに対応できるよう丁寧な協議を通し努力する。②計画に基づき令和10年度までに在り方を検討する。複合化・ICT活用含め運用等検討進める。③「区有文書」と呼ばれ中には古く貴重な資料も含まれ保存価値のある文化財も。保存環境維持大切。専門員・整理活用点含め支援が必要と考える。



凧風会

瀬古 幾司



地域経済の循環を目指した地産地消について

質問

①園芸作物の生産・販売の現状は。②再生産価格は維持できているのか。③市の支援は。④今後の取組は。⑤木材の地産地消策は。

回答

①花野果市で約4億円、スーパー・学校給食で約5千万円、全体の約30%が市内流通。②所得額が再生産価格を上回っている。③営農コーディネーター設置や振興補助金などで安定・拡大を支援する。④生産者数、面積の拡大の為、就農相談や技術支援・事業補助を実施。⑤甲賀市産木材を含む「びわ湖材」を補助金などで使用推進。また公共施設でも積極的に使用する。

再生可能エネルギーの導入計画について

質問

①太陽光発電の導入状況は。②目標30%とした見解と推進策は。③公共施設は避難所を優先に設置すべきでは。

回答

①市内一戸建て住宅の約16%。②達成すべき目標。補助金制度や新技術による施策も研究する。③有効だが、建物状況や効果も踏まえ総合的に判断する。



凧風会

西田 忠



食を活用した地域活性化について

質問

大阪・関西万博、道の駅あいの土山リニューアルを控え、甲賀の米、野菜、お茶、畜産品など当地の豊かな自然や歴史を活かした、魅力的な食文化にスポットを当てた地域活性化を。

回答

市内消費者の認知度は決して高いとは言えず、生産量を増やす取組みを進めるとともに、関係機関と連携し、認知度向上に努めていきたい。

「となりまち い・こ・か」観光圏について

質問

伊賀・甲賀・亀山の3市による観光圏が実現できれば、忍野・旧東海道に加え信楽焼、鈴鹿山系の大自然といった魅力的な観光スポットを組み合わせ、宿泊や飲食をとまなう観光が狙えると考えが。

回答

「伊賀市・甲賀市・亀山市広域連携推進会議」において、令和3年度から「いこかトレイル」と題し3市の輪番により登山イベントを連携して実施し相互交流を図っている。今後もそれぞれのまちの観光資源を余すことなく活かし、相乗効果を図りながら、広域的な周遊観光の促進を図りたい。



公明党

田中 将之



地域幸福度(Well-Being)指標の活用について

質問

3月、6月定例会でシティプロモーション、インナープロモーションについて質問をしたが、今回は「人口」の維持・増加に向けて、地域幸福度指標を活用してはどうか。プロモーション活動が市民の主観的幸福度を向上させる効果があることを鑑み、①地域幸福度指標(Well-Being)の活用と他自治体との比較から学ぶこと。②プロモーション活動の重要性、特に主観的指標を上げるための広報紙を活用したインナープロモーションを。

回答

①人口が増加している自治体と本市の地域幸福度指標を比較した場合、本市は実施している施策が市民にしっかりと伝わっていないということが推測され、インナープロモーションには改善の余地があると認識。そのため、市民に向けたインナープロモーションを、伝えたい情報をターゲットとする様々な属性ごとに戦略的に発信し、主観指標の向上に努めることが、主観指標と客観指標のギャップを埋めるうえにおいて有効な対策のひとつ。②この指標は市民の生活満足度を測るための指標であり、広報紙づくりにも参考にする。



凧風会

谷永 兼二



市長任期満了にあたり4年前に作成された政策集の評価は

質問

①自己評価は。②課題は。

回答

①政策集に示した基本姿勢をもとに誠心誠意取り組んできた。重点的に「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」の3つの分野に取り組んだ他、環境施策の推進や、これからの時代を生きる子どもや若者が夢や希望をもてるまちづくりを進めるため、これまで整備が遅れていた教育施設の充実、財源を将来にわたって確実に確保できるよう取り組んだ産業振興や企業誘致など、政策集に掲げた事業を着実に実施し、コロナ禍においても市政を停滞させることなく前に進め、一定の成果が得られた。②少子高齢化、人口減少を背景とする、産業、地域コミュニティの担い手不足、人材確保への対応、そしてコロナ禍を経て社会が大きく変わる中で、社会的孤立を背景に複雑化・多様化する新たな市民ニーズへの対応。また、適正な公共施設の配置、小学校の再編を含めた教育環境の更なる充実、自治振興会を中心とした自治機能の強化、地域産業の域内循環、雇用の確保、公共交通の利便性向上、文化・伝統の継承、多文化共生などの施策を今後さらに集中的に実施していく必要がある。

臨時会のご案内



日時：令和6年11月8日(金)
午前9時30分から

傍聴お待ちしております

【主な内容】

- 新市長の施政方針演説
- 議会選出監査委員の選出
- 議長・副議長選挙など

傍聴のほか、あいコムこうか、インターネット中継でもご視聴いただけます。



自由民主党誠翔会

きただ れいこ
北田 麗子



シグナル・フォー・ヘルプの周知について

質問 ハンドサインを周知していくことについての見解は。

回答 使用方法やサインに気づいた方がどう行動すべきかについても含め、広く周知に努めたい。

水難事故防止対策の令和5年度の取り組み状況について

質問 市全体としての意識向上に向けて。

回答 これまでの取り組みを継続するとともに、より効果的な手法を研究しながら、安心安全なまちづくりを推奨していく。

ラーケーションにみる「休み方改革」について

質問 政府が進める休み方改革についての見解は。

回答 休み方改革は働く人が休暇を取りやすい環境をつくるための取り組みであり、社会全体の意識改革が非常に重要と考えている。ラーケーションはその中の有効な手段の一つとして認識している。

甲賀市選挙管理委員会委員

(任期：令和6年12月1日～令和10年11月30日)

住所	役職	氏名
水口町	委員長	谷村 定義
甲賀町	職務代理	伊藤 壽彦
信楽町	委員	内田 儀一
水口町	委員	藤井 真知子

補充員

(任期：令和6年12月1日～令和10年11月30日)

住所	役職	氏名
甲賀町	補充員	田村 勝代
水口町	補充員	山中 善明
甲南町	補充員	寺井 儀政
水口町	補充員	岡本 隆一

4年間よろしくお願ひします！

甲賀市選挙管理委員会委員および補充員の選挙を行う

選挙管理委員会は、執行機関として、地方公共団体に置かなければならない委員会の一つで、4人の選挙管理委員をもって組織されます。
選挙管理委員は、選挙権を有する者で、人格が高潔で、政治及び選挙に関し公正な識見を有するもののうちから、地方公共

団体の議会で選挙をするものです。
また、同時に委員と同数の補充員も選挙するものです。いずれも任期は4年です。
9月定例会で甲賀市の選挙管理委員と補充員の選挙を行います。

常任委員会

活動日誌

- 7月22日 報告 甲賀市市制施行20周年記念式典の開催について
令和6年度甲賀市地域安全安心ネットワーク会議の結果について
- 9月11日 報告 令和6年度平和祈念事業について

報告事項

令和6年度甲賀市地域安全安心ネットワーク会議の結果について

行政及び地域住民等の協働による取り組みを通じて、市民が安全・安心に暮らすことができるまちづくりを推進するため「甲賀市地域安全安心ネットワーク会議」が設置され、各部門分野で積極的な取り組みが展開されています。

- 交通安全対策の取り組み
- 高齢者の安全対策の取り組み
- 子どもの安全対策の取り組み
- 自殺対策の取り組み
- 災害対策の取り組み

令和6年度平和祈念3事業について

◆広島平和記念事業

コロナ禍により中断していた広島平和記念事業が、この8月5日～6日、市内小学6年生15名が参加して実施されました。

広島平和記念公園での広島平和記念式典への参列や、ひろしま子ども

平和の集いへの参加（被爆体験者講話等）、原爆の子の像への市内小学校児童作製の折り鶴の献納、原爆死没者慰霊碑への献花、原爆ドーム及び広島平和記念資料館の見学など、平和の大切さを学ぶ機会が実施されました。



◆語り継ぐ平和への思い

（作文発表・講話会）

8月18日、甲賀市戦没者追悼式に引き続いて、あいこつか市民ホール展示室において、広島平和記念事業の参加児童による体験作文発表と広島被爆体験伝承者から被爆者から直接受け継いだ体験や平和への思いが語られました。

◆平和を願うパネル展

8月1日～8日の間、市役所庁舎1階展示スペースにおいて、戦争や



戦時中の暮らしに関する資料や貴重な体験談パネル（滋賀県平和祈念館資料）を展示することで、市民に戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会となりました。

甲賀市市制施行20周年

記念式典の開催について

市政発展に多大な功績をいただいた方々や団体に特別感謝状の贈呈が執り行われ、日韓文化交流親善公演も開催、同日、式典会場周辺において、関連事業としてコウカEXPO 2024が同時開催されます。

- 万博機運醸成イベント
- コウカクラフトフェスタ
- こづか商工まつり



活動日誌

- 7月16日 調査 令和5年度重層的支援体制整備事業の取組
報告 甲賀市小中学校再編計画(たたき台)、(仮称)甲賀市文化芸術振興条例(骨子)のパブリックコメント実施、国指定水口岡山城跡保存活用計画の策定
- 8月16日 調査 甲賀市社会教育ビジョンに基づいた取組
報告 第4甲賀市教育振興基本計画(たたき台)、甲賀市人権に関する総合計画の見直し(素案)、滋賀県、公有財産(信楽警部交番跡地)等
- 9月9日 報告 区・自治会等が設置した防犯灯の管理状況、信楽小学校改築工事基本設計

所管事務調査

令和5年度重層的支援体制整備事業の取組について

令和3年度以降準備、令和4年度から本格実施されている「重層的支援体制整備事業」について、昨年度と今年度の取組を調査しました。

【令和5年度の成果】

「重層的支援会議を通じて、他機関連携とそれに伴う参加支援の流れが生まれている」・「本市独自のひきこもり支援ネットワークが動き出した」等

【令和6年度の重点取組】

「ひきこもりの方・家族への「支援体制強化(アウトリーチ等)」・「第4の縁・地域の受けづくり、繋がりづくり(参加支援)」等

甲賀市社会教育ビジョンに

基づいた取り組みについて

昨年8月に定められた「甲賀市社会教育ビジョン」に基づいた取組に関わり、今年度の推進体制や取組状況を調査しました。

【現状課題と今後の取組】

「地域学校協働活動」

認識の共有が進んでいない地域もあり、社会教育指導員と地域学校協働推進員による伴走支援等を行う。

「公民館事業」

受託者(夢の学習)と協議の場を持つ体制づくりを進めているが、公民館の主体性及び受託者との連携強化をさらに進める。

報告事項

甲南地域包括支援センターの運営業務委託の開始を延期するについて

令和6年10月1日から民間事業者に業務委託を行うために、プロポーザルにて募集をかけていましたが、

応募がなく、その時期を延期することとしました。

Q 事業者の意向把握を実施していたのか。今後、実際に業務委託ができる見通しはあるのか。

A 意向把握を行っていたが、募集時点では人材確保が困難で断念された。今後は、再度、各事業者の状況や意向の調査を行い、委託に向けて進めていく。

区・自治会等が設置した防犯灯の管理状況について

令和6年度から集落内、集落外ともに防犯灯の維持管理電気料金の負担、修繕等について、市が行うこととなったため、状況を報告するものです。なお、当初の想定に対してLED化率が高かったため、電気料金は低くなる予定です。

【電気料金支払者を甲賀市に変更する手続きの完了分(8月31日時点)】

- ① 件数…8702件
- ② LED化率…92・91%
- ③ 1か月の電気料金…約180万円

常任産業建設委員会

活動日誌

- 7月12日 調査 市道新町・貴生川幹線 内貴橋架替事業（現場視察）
報告 コミバスダイヤ改正後の状況報告と今後の見通し・甲賀農業振興地域整備計画の全体見直し・令和5年度有害鳥獣の捕獲と農作物被害の状況など
- 8月9日 調査 道の駅あいの土山新築工事の進捗状況について（現場視察）
報告 市有財産の有償譲渡について・新名神工業団地整備事業についてなど



道の駅あいの土山 現場状況（令和6年8月9日現在）

所管事務調査

道の駅あいの土山

新築工事現場視察

令和6年4月3日に安全祈願祭が執り行われ、工事の進捗状況を現場確認しました。道の駅は甲賀市の東の玄関口に位置し昭和53年に建設され平成5年に県内初の道の駅に登録、オープンから40年が経過し、令和7年春オープン予定です。

Q 開業は来春に間に合うのか。
A 予期しない事態が発生しない限り大丈夫である。

報告事項

コミバスダイヤ改正後の

状況報告と今後の見通し

令和6年4月1日ダイヤ改正の大きなポイントは、かふかの丘、佐山小学校などの延伸、雲井国道線への新設など、市民の意見を反映しました。

Q 朝の便、雨の日など、日によって多くの人が利用し乗車できない状況。具体的な路線とその対策は。

A 水口の八田線で下田から貴生川駅までを結んでいる路線。乗車できない人がおられ、対策を検討しているところである。

令和5年度有害鳥獣の

捕獲と被害状況

農作物被害は1205万円で前年度比11%増加。ニホンジカは1503頭、猪は553頭、ニホンザルは32頭捕獲しました。

Q 被害額に反映されていない部分があるのでは。
A 各改良組合長の判断で報告していただいているもの。

視察研修

令和6年7月29、30日

道の駅 ふくしま

道の駅あいの土山のリニューアルに向けて令和4年開業された道の駅ふくしまの経営状況、防災機能について視察研修を行いました。



岩手県紫波町

オガールプロジェクト

貴生川駅前整備などのまちづくりのため、公民連携による紫波中央駅前整備事業の視察研修を行いました。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

令和6年第3回定例会 9月27日

副議長の選挙

大島正秀副議長が逝去されたことにより副議長が空席となったため選挙を行いました。
副議長 望月 卓（湖南市）

令和5年度甲賀広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定

歳入総額…45億7912万
（対前年度比2億8251万1千円減）
歳出総額…

45億3584万9千円

歳入歳出差引額…

4327万1千円

採決 全員賛成にて認定

令和6年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算（第2号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2673万5千円を追加し、歳入歳出予算の

総額を歳入歳出それぞれ35億568万5千円とする。

職員異動等による人件費見込み、契約の確定等による歳入歳出予算の補正措置、また、債務負担行為（市指定ごみ袋取扱い業務・ごみ焼却灰等運搬業務委託）を追加するもの。

採決 全員賛成にて可決

一般質問

山岡光広議員

● 救急の出勤状況と熱中症症状について

● 消防法による命令について

組合議会報告

公立甲賀病院組合議会

令和6年第3回定例会 9月27日

公立甲賀病院組合議会選挙

藤川みゆき議長が7月22日に議員辞職願を提出されたことにより、中土翔太議員が8月28日に選任されました。

議長が空席となったため選挙を行いました。

議長 細川ゆかり（湖南市）

令和5年度公立甲賀病院組合一般会計歳入歳出決算の認定

歳入総額…

19億9309万6千円

歳出総額…

19億9226万8千円

歳入歳出差引額…82万7千円

採決 全員賛成にて認定

全員協議会

1. 休床病床再開の見直しについて

2. 令和5年度地方独立行政法人公立甲賀病院事業報告について

3. 地方独立行政法人公立甲賀病院令和5年度の業務実績に関する評価について

一般質問

西山実議員

● 新型コロナウイルスの第11波の感染状況と特徴について

● 看護師の確保・育成について

● 令和5年度高額医療機器・システム等の整備について

西村慧議員

● 施設・整備の最適化について

今年の夏は異常な猛暑・酷暑の連続でした…

議会図書室と議員控室を
子どもたちの自主学習として

開放!!

夏休みに限定せず
土日でも開放してほしい。

案内していただく
職員さんが丁寧で
親切でよかった。

ありがとうございました。
この機会に議場も見学できて
よかった。

とても涼しく
集中して勉強することが
できました。



甲賀市議会として初めての試み 夏休みの子どもたちに開放

今年は異常な猛暑・酷暑の連続でした。甲賀市では、公共施設の一部を「涼み処」として一部開放しましたが甲賀市議会も初の試みとして、議会図書室と議員控室を夏季期間に限り、子どもたちの「学びの場」として開放することにしました。

「涼しくて静かな場所で勉強できるのは嬉しい…」と連日大賑わいでした。

開放期間は、7月22日から8月20日まで、午前9時半から午後5時まで。市民からも「粹な計らいですね」と歓迎の声がよせられました。

議会図書室・議員控室利用者人数



地域別利用者人数



※ その他の地域：湖南市、日野町、東近江市、栗東市他

一問一答

Q.甲賀市のおすすめ
スポットは？



西田 忠

凧風会

大池寺はサツキ大刈込みの蓬萊庭園
で有名ですが、敷地西隣弁天池の幻
想的な沈み鳥居もぜひ！



橋本 律子

凧風会

甲南町新治の楼門（甲南町新治）。[四
季通し 人にぎわうも 校門美] 室町時
代に建立された茅葺の重要文化財。



田中 将之

公明党

私が生まれ育った信楽町長野の窯元
がある風景。坂道が多いのは登り窯
を築くのに適していたから。



小倉 剛

自由民主党誠翔会

土山町鮎河地先、野洲川の支流うぐ
い川。桜・蛍・水遊び。課題は維持
管理・ゴミ・駐車場。



中島 裕介

自由民主党誠翔会

甲賀町の大鳥神社は、大原祇園が有
名ですが、普段も季節に合わせての
花水手が綺麗。



田中 新人

凧風会

泉に立つ「横田渡常夜燈」参勤交代
等で通行量増加し渡し舟や渡し賃制
度が整えられ、東海道随一の規模。



山岡 光広

日本共産党

天保一揆ゆかりの地・矢川神社。
4万人を超える農民の闘いは「検地
10万日の日延べ」を。



奥村 則夫

自由民主党誠翔会

八十八夜前後の一番茶の新芽が揃う
早朝の頓宮大茶園の頂上からの眺め。



北田 麗子

自由民主党誠翔会

市内のお茶屋さん巡り！お店の人と
相談しながら自分好みの甲賀のお茶
を探してみよう。



谷永 兼二

凧風会

鶏鳴の滝（信楽町神山）。マイナスイ
オン、森林浴でリフレッシュ。四季
それぞれの表情が楽しめます。



橋本 恒典

凧風会

南鈴鹿の山々が見えるところ、野洲
川の流れを見下ろせるのが良い。
里山の風景もスポットです。



堀 郁子

公明党

水口大橋から見える古城山の台形の
天辺、昔お城があったと歴史を感じ
る事ができる。



木村 眞雄

公明党

かぶか夢の森。丘陵地にあり開放的。
図書館やくすり学習館、公民館もあ
り、一日楽しめます。



戎脇 浩

自由民主党誠翔会

「城山高くあらずとも」と歌われる古
城山山頂からの眺望。山城全盛期の
往時を偲ばせる。



林田 久充

凧風会

「下山城跡」 戦国時代の甲賀衆の伴
氏の城跡と言われ、土塁を四方に囲
まれた中世城郭の一つ。



岡田 重美

日本共産党

青土ダム周辺は、桜・新緑・紅葉・
雪と四季折々の景色が本当に美しい
です。



西山 実

日本共産党

水口城址お堀周りの桜並木です。春
の水口城資料館と御成橋は、絶好の
写真スポットです。



田中 喜克

自由民主党誠翔会

山上庚申山、「日本の真鍮の元祖・発
祥の地」 秋は紅葉、冬は眼下一面の
雲海。



西村 慧

凧風会

甲南町寺庄の道路の交点に建つ特徴
ある木造建造物【六角堂】。建立は
250年以上前の天明8年。



瀬古 幾司

凧風会

甲賀の総社と言われる油日神社。数々
の映画やドラマの撮影スポットです。
一度参拝してみよう。



福井 進

無所属

峯之堂…甲南を一望。変装盆踊りも
復活して、来年4月には33年に一度
の御本尊大開帳を開催。

12月定例会の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
11/24	25	26 本会議 (第1日) 代表質問	27	28 本会議 (第2日)	29	30
1	2	3	4	5	6 本会議 (第3日)	7
8	9 本会議 (第4日) 一般質問	10 本会議 (第5日) 一般質問	11 本会議 (第6日) 一般質問	12 本会議 (第7日) 一般質問	13 委員会	14
15	16 委員会	17 委員会	18 委員会	19	20	21
22	23 本会議 (第8日)	24	25	26	27	28

※午前9時30分から開会します。

※QRコードは機デンソーウェブの登録商標です。

編集後記

▶ 異常な猛暑・酷暑が続いた今年の夏。最高気
温が35度以上、全国的には40℃を記録する地
域も。「こんな暑さ経験したことがない…」が日常
の会話になり、新聞では「極暑」「激暑」「厳暑」「炎
暑」…ついには「地獄の窯のような暑さ」と表現
しました。▶ 市では市内27カ所の公共施設を「涼
み処」として開放、市議会図書室を学生のために
開放する初の試みも。議会一般質問でも「図書館
のエアコンが故障、早期に改善を」、「熱中症対策
としてエアコン設置は欠かせない」などの質問が
相次ぎました。季節は移り変わり、9月議会特
集の編集作業時には、爽やかな秋風が…。

(広報部会員 山岡光広)



甲賀市議会だより

2024.11.01

vol.80

編集■広報広聴委員会 発行■甲賀市議会

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地

TEL.0748(69)2258 FAX.0748(63)4373

ホームページ <https://www.city.koka.lg.jp/council/>

E-mail:koka05101000@city.koka.lg.jp